

平成 25 年度 明星大学「入学前教育プログラム」実施報告

御 厨 まり子*

1. はじめに

平成 25 年度の年内推薦入試による入学予定者を対象とする「入学前教育プログラム」は、スタートアップ講習、通信教育、スクーリング、フォローアップ講習の 4 つのプログラムから構成されており、ここ数年間は同一プログラムで実施している。

「入学前教育プログラム」の目標は、①大学生活への夢を膨らませる、②学ぶ意欲を引き出し、基礎学力を向上させる、③学び続けることの重要性を認識させるということである。

「スタートアップ講習」では、入学予定者を対象に、プレテスト、大学生活スタート講座、学科交流会などのプログラムが実施されている。同日に、入学予定者の保護者を対象とした「保護者プログラム」も、明星教育センターが統括して実施した。

保護者プログラムも今回で 4 回目の実施となるため、本報告書では、平成 25 年 11 月 17 日、12 月 15 日、12 月 22 日に実施した 3 回の「保護者プログラム」の実施報告を中心に、4 年間の総括報告も併せて報告する。

2. 保護者プログラム実施状況

(1) 日時、対象者、参加保護者数

入学予定者に実施するスタートアップ講習と同日に、保護者向けの説明会を実施している。(表 1) 4 年間の保護者の出席状況推移(表 2)をみても、4 年間とも約 7 割の保護者が参加していることとなる。合格直後に開催していることも参加者が多い要因かもしれないが、保護者が本プログラムに関心あることが伺える。

表 1. 入学前教育プログラム対象者と保護者参加者数

回数	日程	対象者	対象者	保護者参加者
1	平成 25 年 11 月 17 日 (日)	AO9 月・10 月入学予定者	315 名	262 組 313 名
2	平成 25 年 12 月 15 日 (日)	指定校推薦入試・公募制推薦、明星高校、卒業生子女、スポーツ・文化 入学予定者	529 名	381 組 458 名
3	平成 25 年 12 月 22 日 (日)	AO12 月入学予定者	91 名	58 組 71 名
合計			935 名	701 組 842 名

表 2. 保護者の出席状況の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
参加者 (参加率)	974 名 (83.7%)	754 組 931 名 (71.6%)	708 組 1,167 名 (68.1%)	701 組 842 名 (75.0%)

* 明星大学明星教育センター事務室課長

(2) プログラムの内容

保護者プログラムは、入学予定者に実施する入学前教育プログラムの理解を促し、更には家庭での後方支援を得たいという協力依頼をも兼ねている。その他、本学における自校教育、教育理念や目的などもDVD上映とともに説明を行い、大学事務局からの連絡事項を含めている。最後に在学生から「私たちの学生生活」についてスピーチしてもらった内容を盛り込み90分で構成している。本プログラムをスタートし4年目でもあり、内容については、保護者からのアンケートの結果を反映しつつ、改善につなげている。改善点としては、初年度（平成22年度）は奨学金や就職関連、履修の内容など保護者が関心ある内容を盛り込みプログラムを構成した。しかし、保護者にとっては、「関心があるものの、まだ入学するまでに時間がある為、まだ先のこととして捉えている」、「長時間の説明を一気に聞く」と情報量が多いためとても疲れる」などといった意見もあった。内容についても、入学後の保護者会（育星会）でのプログラム等と重複しないよう再構成し、現時点で保護者に伝えたい必要な内容のみに特定して内容を構成している。

保護者プログラム（内容）

- | | |
|------------------|--------------|
| ・ 明星教育センター長挨拶 | ・ 大学事務局からの説明 |
| ・ 明星大学における教育理念 | ・ 在学生からのスピーチ |
| ・ 入学前教育プログラムについて | ・ 質疑応答 |



保護者プログラム 1

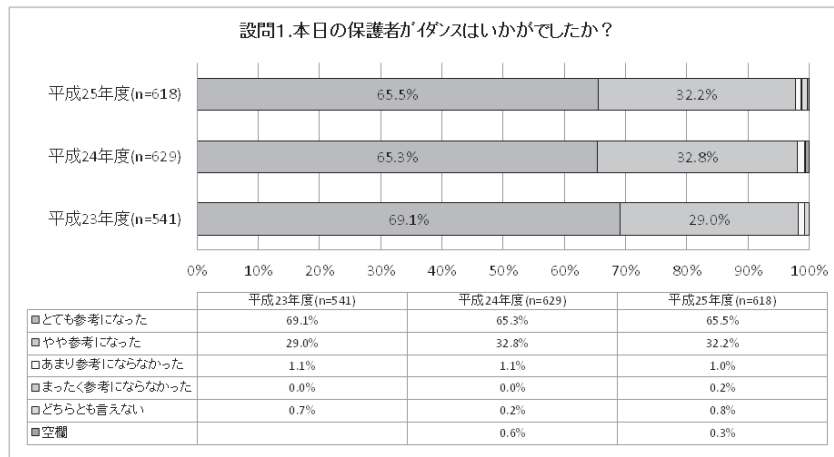


保護者プログラム 2 (在学生スピーチ)

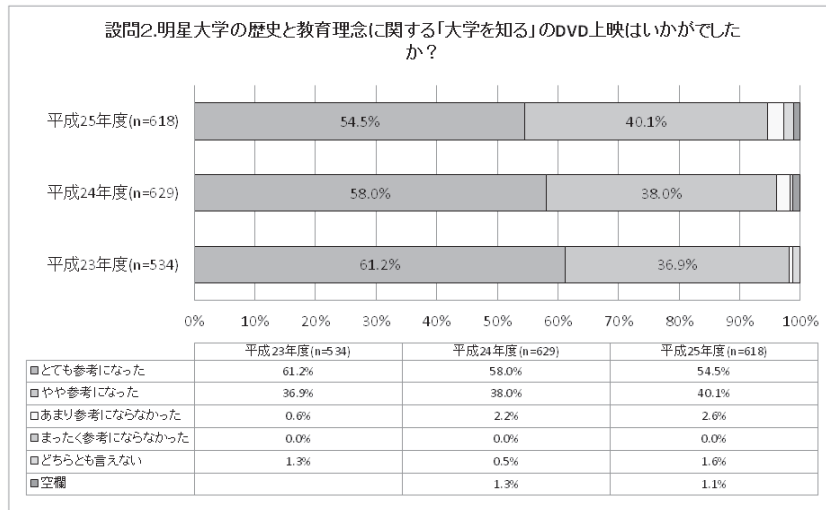
(3) 保護者アンケート

保護者アンケートは平成 23 年度に設問項目を変更しているため、過去 2 年間のアンケート結果と比較して本年度の報告をしたい。設問項目は自由記述項目を含めて 6 項目となっている。

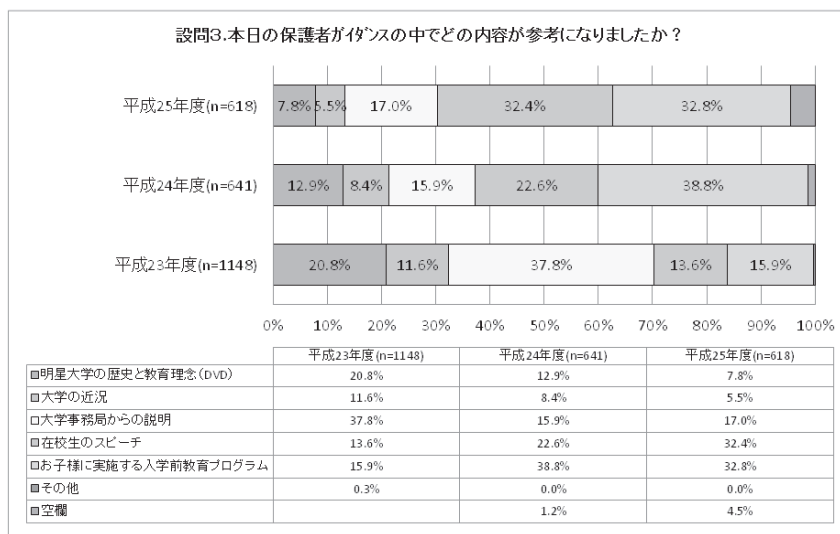
設問 1 では、ガイダンス全体を問う設問であるが、97%の保護者が肯定的な回答であった。保護者からは、「4 月までの過ごし方を不安に思っていたが安心できた」、「合格後の生活にやや不安があったので本日のガイダンスで安心できました」、「教育理念や在学生の話が聞けたので参加して良かった」等のコメントが多く寄せられた。保護者は、合格しつつも、4 月以降入学後の不安を抱えていることがわかった。



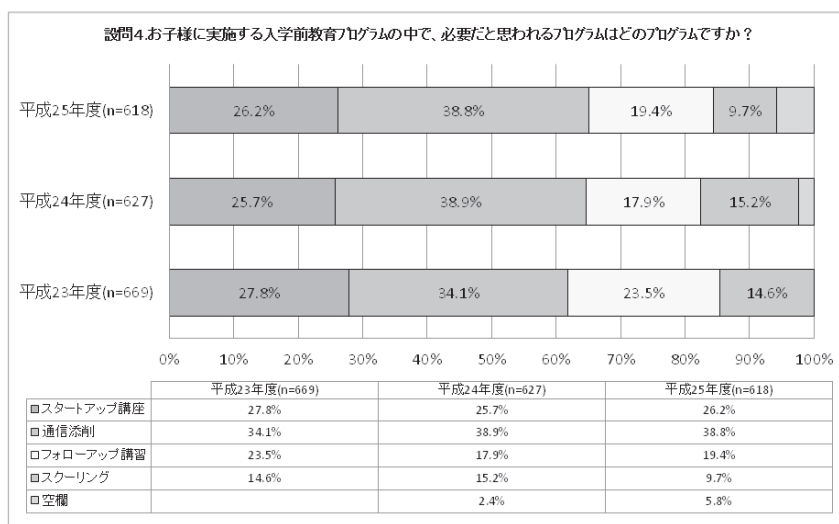
設問2では、本学の歴史、教育理念について説明をする時間を設けている。「とても参考になった」、「やや参考になった」の肯定的回答が94.6%であった。「教育方針が伝わってきた」、「大学を決める際、子供に任せていたので改めて大学のことを知ることができた」、「明星の歴史がわかり教育理念にも共感することが出来た」などとコメントが多く寄せられた。時間が限られている中での自校教育や沿革などを紹介するには、「自立と体験1（1年生必修科目）」の授業用でまとめた10分弱のDVD映像教材を使用し、補完的にパワーポイントの資料とともに説明している。短い時間ではあっても明星大学についての歴史等の理解促進には効果があると考えている。



設問3では、ガイダンスの内容について確認をした。本年度は、入学予定者に実施する入学前教育プログラム(32.8%)、在学生スピーチ(32.4%)、大学事務局からの説明(17.0%)となっている。在学生スピーチは、在学生が「私たちの学生生活」を5分程度で発表するが、昨年度に比べて9.8ポイント上昇している。在学生が語る内容は、学生自身に任せているが、それぞれの内容で学生自身の言葉で語っているところが保護者にとっては好印象であったと考える。2年前は「大学事務局からの説明」が参考になったが第1位であった。ここ2年間は、入学予定者自身に直接かかわるプログラムの内容や、在学生のスピーチとなっていることから、保護者の関心が変化してきている。



設問 4 では、入学前教育プログラム上で、保護者の立場で何が必要だと思うかの設問である。この設問においては、ほぼ 3 年間変化はない結果となった。通信教育が良いと回答する保護者には、「早くに大学が決まったので、中だるみを起こさない為に必要だと思う」、「高校から大学への学習する習慣を途切れさせないために必要だと感じる」、「入学までの時間を有効に使う為に大変良いと思う」などの回答が多かった。合格後から入学までの期間を学習という側面に不安を持つ保護者が多い中で、学び続けることの重要性を認識させる目的については保護者には理解を得ていると考える。



3. 今後の展望

4 年目を迎えた「入学前教育プログラム」は、前年度までの反省点を生かして 90 分の時間内で進行させながら現時点で必要な情報を保護者へ提供することを主眼としている。

その結果、実施するプログラムの中で必要と思われるプログラムは何かという設問に対して、約 4 割の保護者が「通信教育」と回答している。大事な時期でもあり、大学への準備期間として、「勉強をしてほしい」と願う保護者も多いことがアンケートの記述回答でもみられた。入学までの時期に「何をやるべきなのか」を入学予定者にじっくり考えさせ、学生が自らの大学生活を充実させるために大変重要なことである。保護者にも理解してもらうことは、入学予定者が家庭内においても後方支援を得られると考えているからである。保護者および大学と一体となって、入学予定者に今の時期を大事に過ごし 4 月を迎えてほしいと願うものである。

今後も、保護者にとっての「入学前教育プログラム」が充実できるよう、入学前教育で行う目的やねらいを明確にして充実をはかっていけるように努力をしていきたい。